

科目名	神経系の構造・機能・病態			授業の種類	演習	講師名	
授業回数	15 回	時間数	30 時間	1 単位	必修・選択	必修	配当学年 時期
							1年 前期
【授業の目的・ねらい】 脳血管障害、頭部外傷、脳腫瘍を中心に主な脳神経外科疾患の病態、診断、治療について理解する。							
【実務者経験】							
【授業全体の内容の概要】 言語聴覚療法を行うために必要な神経系器官の構造と機能および神経生理学について習得し、その病態を理解できる。 臨床と国家試験に必要な基礎的知識を身につける。							
【授業終了時の達成課題（到達目標）】 神経系の概要と病態について理解でき、その神経生理学的機構について基本的な知識を習得できる。							
回数	講義内容						準備物(教材)
1	人体における神経系の役割と位置づけ(神経細胞とその集合)について理解できる。						
2	神経系のはたらき(刺激－統合－反応,中枢と末梢の区別,情報伝達系)の概要を理解できる。						
3	中枢神経系(大脳)の概要を理解できる。						スマートフォン,タブレットなど
4	中枢神経系(大脳基底核)の概要を理解できる。						スマートフォン,タブレットなど
5	中枢神経系(脳幹)の概要を理解できる。						スマートフォン,タブレットなど
6	大脳半球の構造と機能について理解できる①						
7	大脳半球の構造と機能について理解できる②						
8	脊髄の概要と末梢神経系の概要について理解できる。						
9	神経伝導と神経伝達について概要を理解できる。						
10	体性神経系の神経路について概要を理解できる。						
11	感覚経路の障害と運動経路の障害について概要を理解できる。						
12	自律神経系のはたらきと障害について概要を理解できる。						
13	大脳の機能と障害について概要を理解できる。						
14	脊髄の機能と障害について概要を理解できる。						
15	小脳,脳幹部の機能と障害について概要を理解できる。						
定期筆記試験							
【使用教科書・教材・参考書】 『病気がみえるvol.7 脳・神経』							
【準備学習・時間外学習】 授業での説明や板書をしっかりと記録し、基本的な用語や図を何度も覚えて定着させるようにしてください。							
【単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など）】 試験の結果を100点満点として成績を評価する。 試験は定期試験のみ実施とし、 60点以上の場合に科目を認定する。							